

街かど

随筆

われら大正生まれ

八内田 正一 (寺地 六十歳)

街かどは、みなさんのページです。作品、絵画、ト、短歌、俳句、川柳、詩など、やご意見、を募集しています。原則として必ず掲載、また「われら仲間」や「私とスポーツ」にも、匿名希望者は匿名としますが、編集部には氏名、投稿、連絡先、黒埼町大野一八四三の二、

最近、いろんな所で事あるごと「明治は遠くなりにけり」などという人の声を耳にする。しかし、現実には「大正も遠くなりにけり」ではないでしょうか。

私たち「黒埼町銃剣道連盟」の同士で六十歳以上の者は多い。各自がそれなりに自分の趣味と実益を兼ねて、毎週の練習日に汗を流している。

六十歳を超えて国体に出場した人あり、県大会で若い二十、三十代の選手と戦って入賞した人もいる。なんとすばらしいことでしょうか。六十代の大正生まれの者として大変に嬉しく思う。

雨の日も風の日も、また雪の日も。敬老会のお誘いにも耳を貸さず練習し身体を鍛えている。われら大正生まれ、今日も汗を流してがんばっている。私もまだがんばらなければと思う。

私は東京の日本武道館に四度県代表として出場した。そのために二十年間四、五回しか練習を休まなかった。

私と同年の旧友が、おまえはまだそんな運動をしているのかと私を軽蔑して言ったことがある。その時、今では銃剣道もりっぱなスポーツとして認められて、国体の種目にもあるのだと言いつつ返してやった。それに、病氣一つしたことがないし、腰だ

って曲がついていないぞと言ったら、笑って帰って行った。彼のこの二年後に亡くなられた。

十年ほど前に新潟市長から「音楽とスポーツの功労賞」をいただいた。これもスポーツを続けてきたおかげだと思っている。

私は特に若い人にスポーツを望みたい。最近の新聞では中学生の体位と体力の不一致を報道していた。勉強も大切だがそれ以上に健康な身体が大事だと思う。実際に総合体育館では四、五歳ぐらいの子供から中学生まで汗を流している児童生徒も多い。大正も遠くになったなあと思いつつ、私もまだまだがんばりたいと思う。

短歌

短歌会

狭庭辺のあけびの芽を摘み一皿の小さき幸を夫と味わう 金内 セツ
振袖を孫に着させて掛けをきし模様さくらに陽のあたりをり 宮田 ミイ
老林に苦手な寒き過ぎ去りて桃や菜の花心明らぶ 柏 直樹地
ひと日ごとに根付く早苗の青む田を見廻ることもたのしき一つ 平松 清治郎
鯉のぼり山家に泳ぐを羨しみて出産近き息子の家に急ぐ 泉井 ヨ子
枯葉を口にくわえて飛び立つ間尾をふり歩くせききれい一羽 阿部 浄子
イギリスのサッチャー首相の強硬な態度をニュースは今日も映せり 小出 美喜子
久方の友の便りは歩く時腰の後ろに両手握ると 酒井 庄平

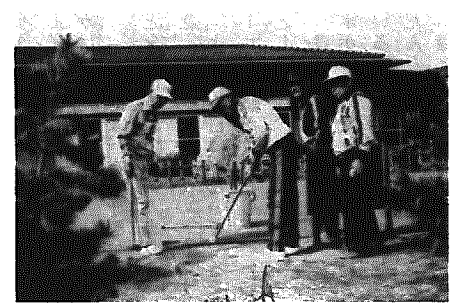
孤独より守るためとの趣味なれど学びの道のおくの深さよ
その教へ授け給えと雲上殿見上げて登る六無坂 佐藤 キン

近き日に社会に飛び立つ孫は今日見上げる背丈で訪ね来たり
初月給重みいかにと祖母問えば孫満足と笑みを浮かべし 匿名 希望

やってみませんか ゲートゴルフ

ゲートゴルフー初めて聞く人も多いかと思えます。ゲートボールとゴルフをミックスしたもので、現在黒埼荘前庭にコースを設定してあります。小山や木などで起伏に富む七カ所のホールをより少ない打数で終了させます。

昨年の七月に創設以来、静かな人気を呼んでいますが、得点表を付ける人が少ないのです。参考までに昨年度の記録はー入山与和男25点、本間久蔵23点、高橋高三郎20点などでした。今後も整備しておきますので



黒埼荘においでのとときは楽しいゲートゴルフにあなたも挑戦してみてください。

教育委員会社会体育係

県展に十二人が入選

今年で三十七回を迎えた県展に、本町から十二人のかたがみごとに入選されました。

- 版画 西原 義樹
- 工芸 植村 法子
- 写真 永井 守
- 小林 六郎
- 小熊 泰生
- 大滝 満
- 阿部 照雄
- 上沼 ミツ
- 坂井 俊文
- 木村 芳郎
- 外川 清
- 彫刻 植村 修

詩

デージー色の便り 大橋京子 (黒鳥)

空が手を広げて
植えられたばかりの
青田を包んでいます
水面はキラキラ光つて
夏の訪ずれを
一足早く告げています
日増しに緑を増した木々に
風は快く調和し
私の耳にデージー色の便りが
届きました
私の庭にも都忘れが
そつと咲きました

わたしはスポーツ



学生時代からしばらくごぶさたしていたトレーニングウェアを身に付けて、家事、育児と忙しい中、この春から硬式テニス

魅力ある人生を

矢沢 洋子 (二十八歳 寺地)

の仲間に入れていただきました。動機は健康維持とテニスをおして何かを学ぶため。そしてテニス自体がとておもしろそうだから。本音を言えば、自分への挑戦なんです。少し前までは「若い人はいいいわね」と日常の多忙な雑事のせいで何もしなかった私ですが、それは心掛け次第で、若いだけが華やかではないと思つて

います。私はスポーツにも(何でもそうですが)その年齢に応じた楽しみ方のあることを発見したのです。今、私はスポーツをおしていくつになっても魅力ある人生を送っていきたくと思うのです。魅力ーそれは一日一日の地道な努力。そしていつの間にか上達して得られる技術、それを使う楽しさです。また同好の人

たちとのふれあい、そこから生まれる人間としての豊かさ、すばらしいと思いませんか。自分の可能な範囲内でひとつの目標を持ち、努力を重ね始めれば気がつかないうちに自分に自信のようなものがついてくると信じています。子供の「ママへたくそ」という声にも負けず週一度のテニスに励んでいます。とはいっても思うように練習もままならず生まれつきの運動音痴も加わってその成果はなんととも評価しが

たい(?)のです。しかし、継続することによって衰えていた体力もすつとねばれるようになり、いつの日か成長した子どもとプレイが楽しめる最高と思つています。自分への挑戦は、いくつになつてもこれで終わりということはないと思います。スポーツで流す汗のすがすがしさは、実際に気持ちのいいものです。みなさんも何かを始めて、魅力ある人生を送ってみませんか。

